

一般質問

平成18年第4回定例市議会は、12月4日から15日まで行われ、一般質問は、12月5日から7日までの3日間、交通安全対策、いじめ、除雪、予算編成、まちづくりなど多岐にわたって9人の議員が質問しました。



木村 純一 議員

問 交通事故防止対策について
答 三ヶ月連続死亡事故が発生したことで、室蘭警察署、登別市交通安全協会と共に「登別市緊急交通安全対策会議」を開催し、登別市連合町内会、登別商工会議所など関係十三団体と、今後の対策について検討を行い、①広報による啓発活動②市内各事業所に対して交通安全緊急アピール文の送付③STOP！死亡事故・人と旗の波街頭啓発運動の実施を「交通安全緊急四大対策」として取りまとめました。今後、室蘭警察署や登別市交通安全協会と協力し、交通事故防止に取り組んでいく。

花井 泰子 議員

今回は、全国で問題になっている「いじめ」の取り組みについて質問しました。
 学校は、児童生徒の発する心のサインを敏感に受け止め、いじめの背景や要因の分析、迅速で的確な組織的な取り組みをしている。また、いじめは「どの学校でも起こり得る」と認識し、取り組みの再点検を行い、児童生徒の訴えが十分に届いているか、担任だけでなく、学校全体の把握ができていくかなどの検証を行う。「いじめは人間として絶対に許せない」という意識を児童生徒に徹底したいとの教育委員会の答弁でした。

西村 孝夫 議員

問 除雪について 本年度の除雪計画・方針、業者対応、市民周知のあり方について。
答 除雪出動の基準は概ね十五センチ以上としているが、気象状況、降雪強度、吹き溜まり状態により、総合的に判断して実施する。業者については、三十三業者に区間を決めて委託する。市民周知はわかりやすい方法を目指し、除雪基準などの内容を、より理解が深まる

山口 賢治 議員

ものを作成し、市のホームページに掲載するとともに、各町内会などを通じて知らせたい。
問 業者への待機保証の考えは。
答 今後研究していきたい。
 平成十六年五月二十一日「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が成立し、五年以内に裁判員制度が実施される事となりました。
 この制度は、国民が裁判員として刑事裁判に参加し、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするのかを裁判官と一緒に決める制度です。PTAや学校授業などでの取組を含め、事前説明会や模擬裁判などを積極的に行うべきであると考え、質問を致しましたが、総務部長は、国の制度ではあるが、市民周知の為に、ビデオの貸出しなど、広報活動に協力をすると回答を頂きました。

降雪強度：
 降雪強度とは、一時間あたりの積雪の深さを言います。短時間に激しい降雪がある場合に降雪強度が高いと表現します。